



某食品メーカー  
会議室

カスタマー  
センターからの  
要望を受けて  
作り始めた  
AIチャットボット

なぜ  
半年たっても  
リリース  
できないんだあ…

IT部門 部長

UIも  
かっこよく  
したのに…

この  
プロジェクト  
打ち切りかな  
…

一体何が  
ダメなんだ!

部長!  
キーボードに  
当たらないで  
ください

バチ  
バチ  
バチン

→がくしコマンド▶▶ \*%#\$!|#?>B!-#%&'M%&'#&&-W\_@&t"\$=-&o'&n

わたくし  
ビジネスの  
悩みを  
AIを使って  
解決する  
魔人デス!

特殊なコマンドで  
現れマスー!

ボワン

さあご主人  
願いをリリース!

トマソン

お願い…  
チャットボットを  
作ってください!

お安い御用!

PCの中に  
住んでる  
わたくしに  
とつちや  
AIなんて  
友達も同然  
デスから!

それじゃ  
『AI導入のハードル』と  
その解決策を  
教えマスから

それをもとに  
やってみてーっ

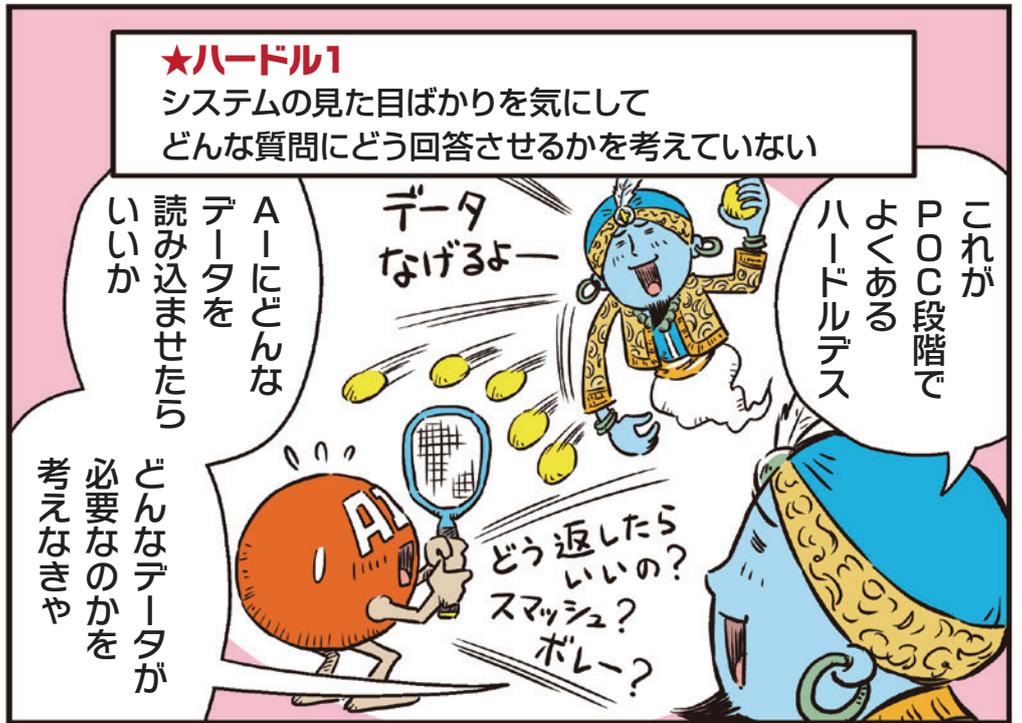
あれ  
魔法で叶えて  
くれないの?!

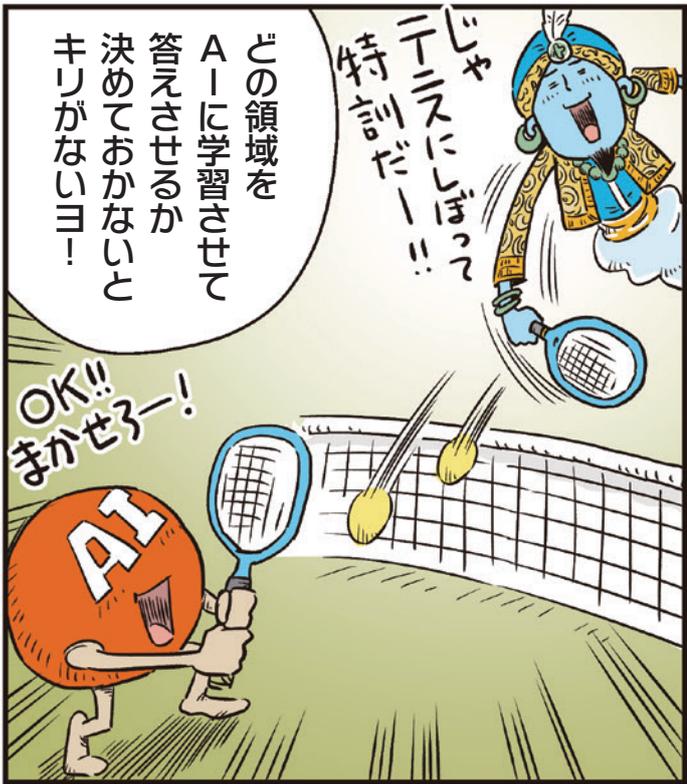
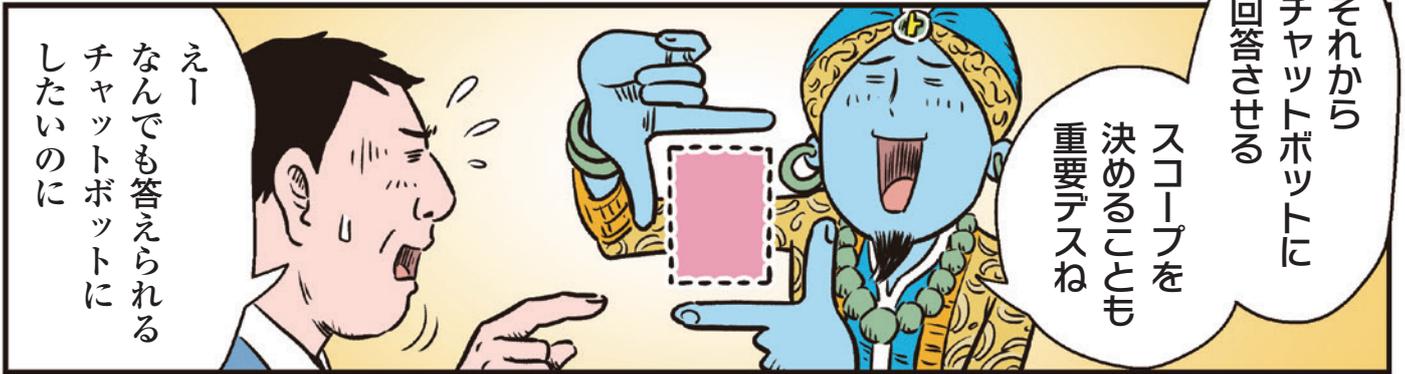
ランプの  
魔人って  
本当に  
いるんだ…

キラッ

いやそれ  
急須だし

わたくしの  
おうちはPCだって  
言ったじゃーん  
話聞いてる?







部長…

クレーム受付の  
チャットボットが  
クレームの原因に  
なっています

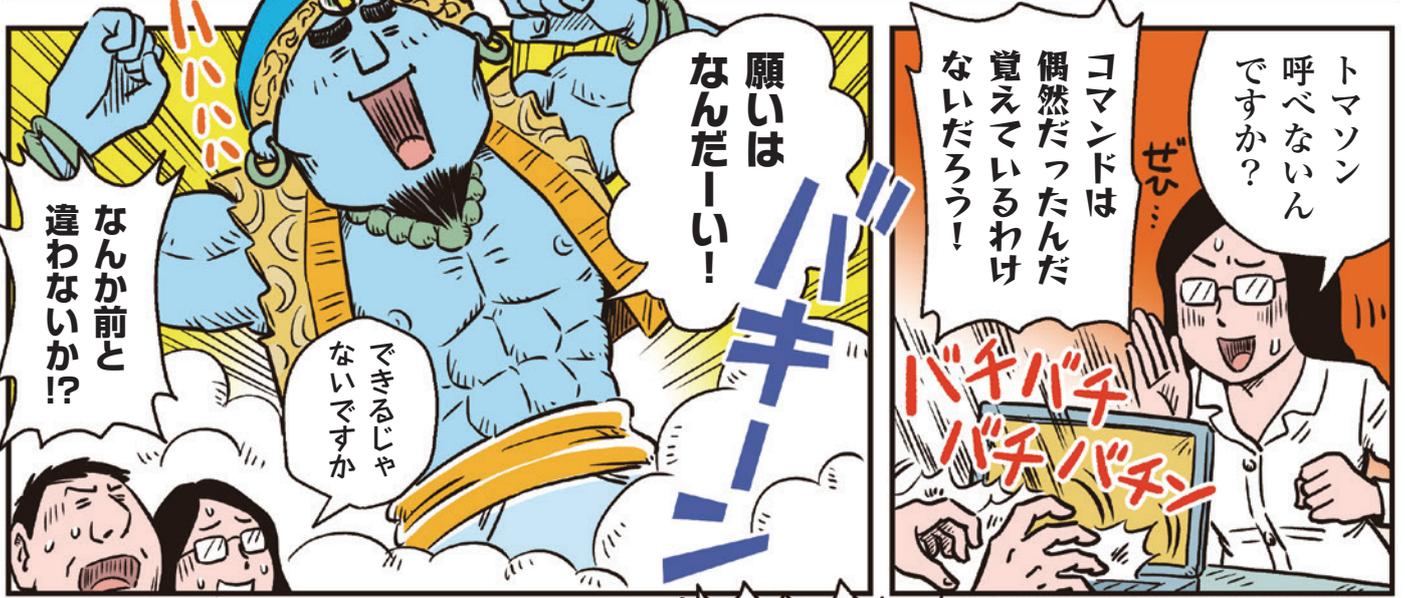
うーん…

営業部からは

「チャットボットがすぐに  
『その商品はわからない』  
と答える」という  
指摘も来ています

「チャットボットに  
質問しても  
的外れな回答が  
出てくる」と

クレームが  
来ている  
そうです



トマソン  
呼べないん  
ですか？

コマンドは  
偶然だったんだ  
覚えてるわけ  
ないだろう！

願いは  
なんだーい！

**バキバキ**  
**バチバチ**

なんか前と  
違うのか！？

できるじゃ  
ないですか



じゃあ  
集めたデータを  
見直そう！

やっぱり  
魔法じゃない  
のか…

**キラッ**

トマソン！  
チャットボットが  
上手く機能するよう  
にしてくれ！

よし  
分かった！

**お願いだ！**



コマンドが  
ちよつとだけ  
違ってたからさ  
美しいカラダ…

\*#!\*!%!>B!->#&'M%#&>W\_`@&t'\$=!o'&n



さらに  
数か月後

チャットボットが  
うまく機能したと  
思ったのも束の間

数か月で  
また回答内容が  
合わなくなっ  
てきました

数か月で  
サービス内容も  
お客様の声も  
変わりますからね

今度こそ  
上手くいくと  
思ったのに…



\*#l>B!~M'#>W\_a&t'S=lo'&n ←

ボウッン

でも正しく  
打って  
ほしいな

隠しコマンドを  
何度も打てる  
なんてすごい  
ですね

こっちは  
コマンドを  
打っている  
つもりは  
ないんだよ…



★ハードル4

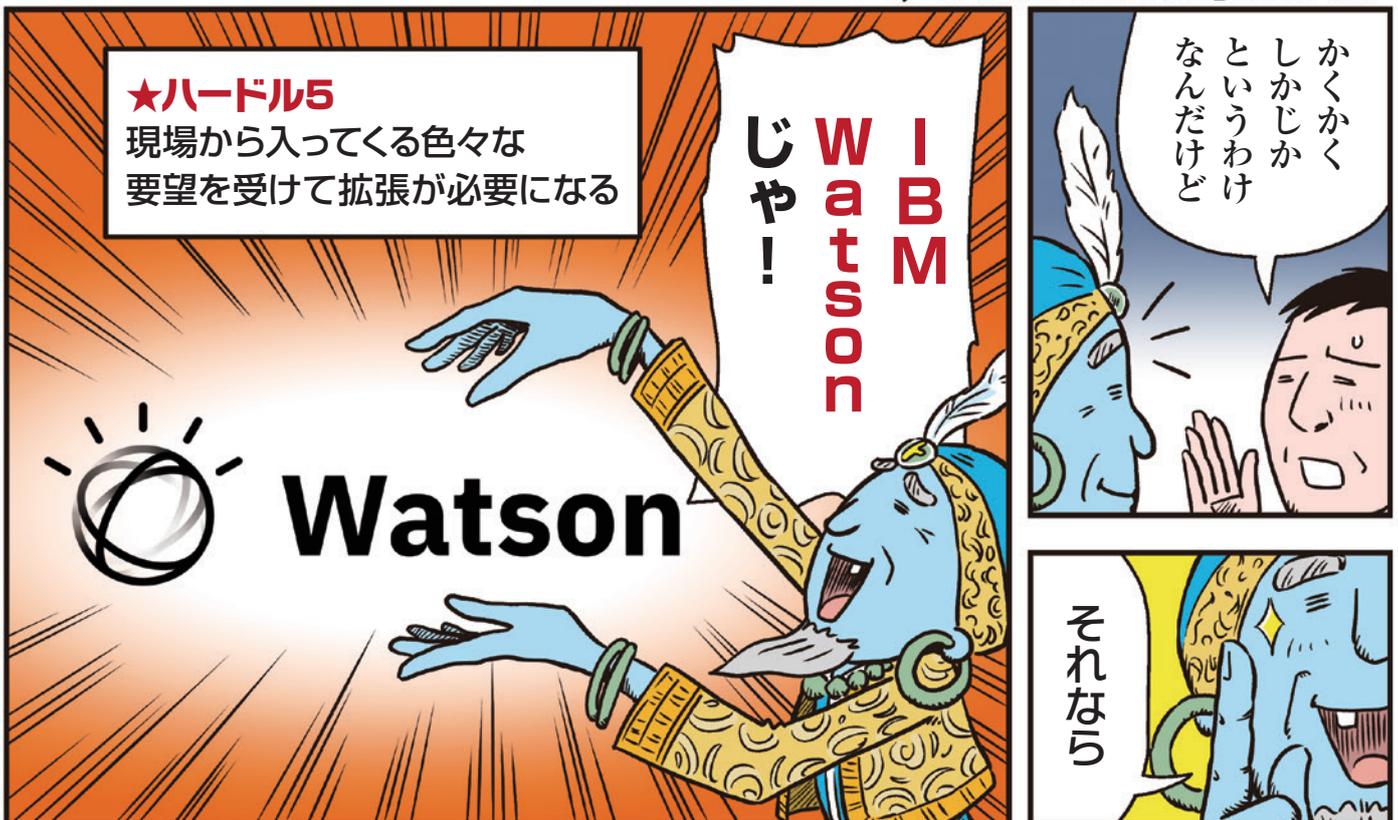
時間とともに問い合わせ内容が  
変わってくる

AIってのは  
継続学習が  
大事なんだ

どんどん  
新しいデータを  
入れて

変わったところや  
変えたいところを  
学習させること!





IBM Watsonなら  
他の業務システムや  
データベースと  
連携して

高度な機能も  
実装できるぞ

商品マスターに  
照会したり  
受注システムに  
アクセスして

お客様の  
購買履歴を  
確認したりと  
いったことも  
可能じゃからさ

**質問データ**

**連携している**

**商品マスター**

**購買履歴**

**在庫データ**

チャットボットへの  
質問には簡単に  
答えられないものも  
あるじゃろう

そんな場合でも  
IBM Watson  
なら

電子マニュアル  
Webページの  
情報など  
数万件のデータを  
読み込み

関連しそうな情報を  
レコメンドすることが  
できるんじや

Twitterにあった  
新商品は  
サイトから購入  
できます

**Webサイト**

**LP**

**電子マニュアル**

**SNS**

**AI**

それに  
チャットボットの  
インターフェースを

LINEや  
Messenger  
Slackで実装する  
こともできるぞ!!

おおっ  
きゃー

それなら  
ここに  
連絡すると  
いい!!

**日本アイ・ビー・エム株式会社**  
ibm.biz/watson-form  
TEL: 0120-550-210 (平日9時~17時)

このプロジェクトに  
ピッタリじゃなっか?

それはいい!  
さっそく  
導入してくれ!

さあ  
願いは  
叶えて  
やったぞ!

また  
逢う日まで  
さようなら...

最後まで  
魔法は  
なかったな...